

北勢地区標準化懇談会 2013年度 活動報告

懇談会	テーマ	精度管理関係	その他
2013年 5月14日 22名参加 多目的ホール	試薬検討の意味 ～試薬の特徴をつかむ～ 関東化学株式会社	2月実施地区サーベイの検討	
7月9日 24名参加 研修センター 402号室	イムノアッセイにおけるQCの考え方について バイオ・ラッド ラボトリーズ株式会社 診断薬事業部マーケティング部 植村康浩 講師	5月実施地区サーベイの検討	三重県臨床化学・免疫血清勉強会を開催
10月29日 21名参加 2階中央検査技師室	どのようにして甲状腺疾患は診断されるか (In vitro検査を中心に) アボットジャパン株式会社セールスエクセレンス部 学術情報グループ 青木和雄 講師	7月実施地区サーベイの検討	脂質検体を配布
12月10日 19名参加 多目的ホール	生化学自動分析装置の原理 ～今さら聞けない分析機の構造と トラブルの対処法～ 日本電子株式会社	10月実施地区サーベイの検討	三重県臨床化学・免疫血清勉強会を開催
2014年 2月25日 23名参加 研修センター 402号室	TDMの考え方 ～薬物動態を中心に～ シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社 HHS事業部 小坂光郎 講師	12月実施地区サーベイの検討	三重県臨床化学・免疫血清勉強会を開催

総

括

今年度は5回の勉強会及びサーベイの検討を行いました。

勉強会

さまざまな分野における話題を提供していただきました。

サーベイ検討

ALTの測定値が2SDより低値の施設がありました。
検体保存の様子を伺うと測定まで溶解してないとの事でしたが、
-20℃保存でした。
ALTは-20℃保存では活性が低下するので、-20℃以下の冷凍庫
のない施設は検体を持ち帰った次の日に測定するようお願いしました。
(桑名東医療センター、村瀬病院、菰野厚生病院、メディック桑名)